本日の内容

1　はじめに

2　東日本大震災に以降の対策：こころのケアチームからDPATへ

3　DPATとは

4　DPAT活動事例

5　現場支援を想定する

6　まとめ

本日の内容

1　はじめに

2　東日本大震災に以降の対策：こころのケアチームからDPATへ

3　DPATとは

4　DPAT活動事例

5　現場支援を想定する

6　まとめ

愛媛県の災害想定から考える

【南海トラフ地震（震度６強）】

- 松山平野、新居浜平野を中心に、松山市・西条市など県内13市町村の地域で震度６強。全県的に震度4以上の地域が分布。
- 人的被害は、死者2,666人、負傷者42,399人、避難者349,674人
- 建物被害は、全壊60,715棟、半壊173,020棟
- ライフラインは、断水260,616戸、ガス供給停止38,658戸、停電94,544戸
- 松山市・新居浜市・西条市・東予市など埋立地、沖積平野等比較的地盤の弱い地域で液状化の危険性が高い。道路・鉄道は、ほとんどの鉄道は運行停止、緊急輸送道路の渋滞、国県道や高速道路でも不通区間が発生。松山空港では、滑走路に亀裂等が発生し、一時的に航空機の運行が見合わせられる。また、伊方原子力発電所へ影響する可能性がある。

（平成25年度ＤＰＡＴ研修愛媛県の発表より）

想像してみましょう

- どのようなＤＰＡＴ活動が必要とされますか
  - そのニーズはどうすれば分かりますか

⇒**情報収集**が必要不可欠。精神保健医療ニーズは「待っているだけでは分からない」（広島市精神保健福祉センター皆川所長）

災害時の情報収集

- 何の為に？
- どのような情報を？
- どこから？
- どうやって？
- どう使うか！

（目的達成の為のマネージメント）

DPATの活動内容

1. 災害によって障害された地域精神科医療機関の機能の補完を行う。
2. 避難所、在宅の精神疾患を持つ被災者に対する継続的で適切な精神医療の提供を行う。
3. 災害のストレスによって新たに生じた精神的問題を抱える一般住民への対応

…等

⇒被災地のニーズに合わせた、精神科医療及び精神保健活動の支援

（厚生労働省：DPAT活動要領）

災害によって障害された地域精神科医療機関の機能の補完を行う為に必要な情報は？

- 精神科病院の被災状況（ライフライン、建物、設備の被害、入院患者の状況、スタッフの出勤状況等）
- 災害拠点病院やその他の総合病院等、精神科診療のニーズについて
- 病院へのアクセス（道路状況、燃料情報他）
- DMATや日赤等の医療チームの支援状況
- 搬送手段（DPAT車両、警察車両、消防車両）
- 搬送先・受入先の手配
- 二次災害の可能性（火災や天候）
- 医療資機材、医薬品の有無

避難所、在宅の精神疾患を持つ被災者への精神医療の提供/ストレスによって新たに生じた精神的問題を抱える一般住民への対応のために必要な情報とは？

- 避難所設置状況、指定避難所リスト、救援物資
- 医療救護班、救護所設置状況
- 病院、診療所、介護老人保健施設、指定介護老人福祉施設リスト
- 避難所、上記施設へのアクセス（道路状況、燃料情報他）
- 二次災害の可能性（火災や天候）
- 介護・福祉施設、事業者リスト
- 要援護者リスト
- 自立支援医療受給者リスト
- 精神障がい者保健福祉手帳取得者リスト
- 仮設住宅、復興住宅リスト

情報収集先

- 行政

  県対策本部
  国の対策本部
  市町村の対策本部
  消防・警察・自衛隊・海保　他

- マスコミ

  ラジオ・テレビ・インターネット
  DMHIS・精神科病院マップ/EMIS
  /SNS&SMS

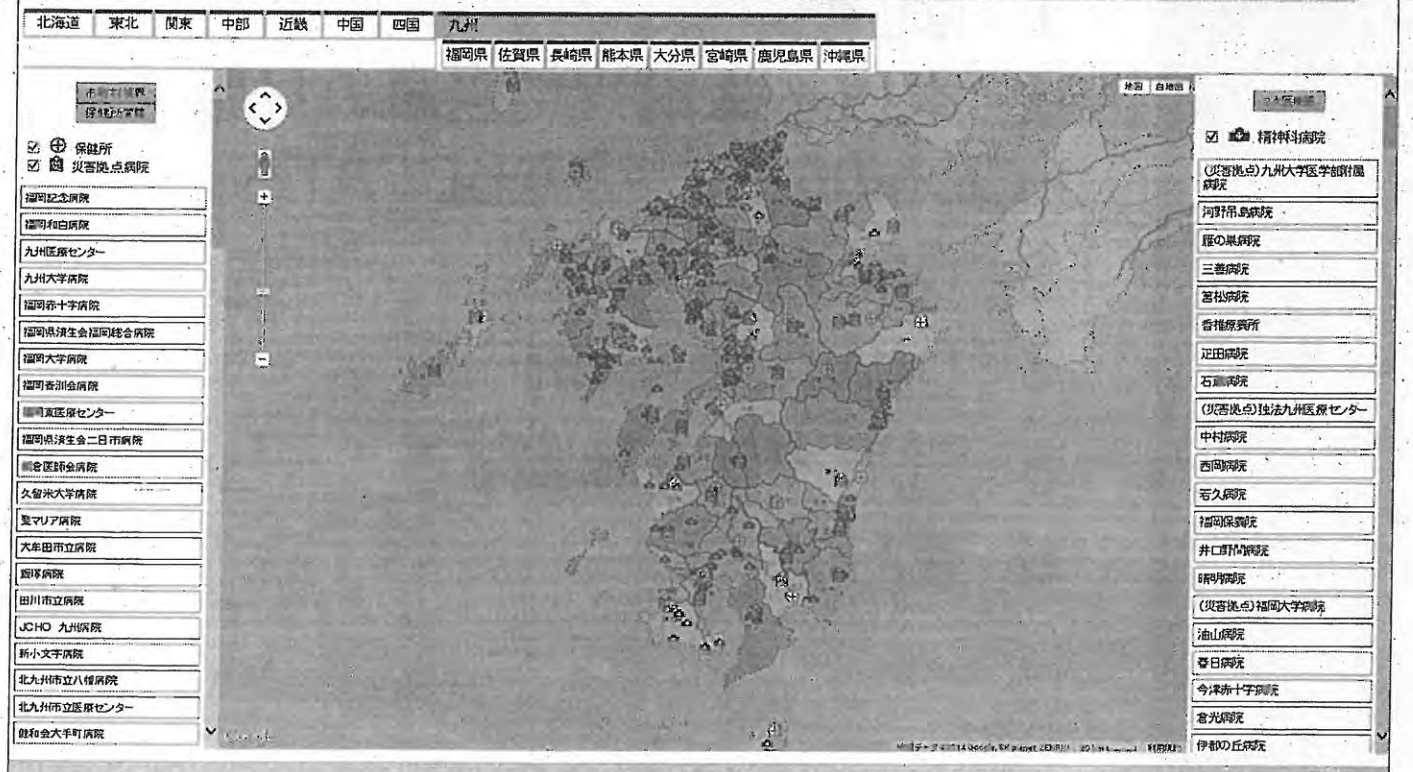
- 医療関係各所

  DMAT、日赤、医師会、病院協会、
  保健師　保健所、精神保健福祉
  センター、病院、被災地の友人？

- その他

  NEXCO高速道路情報
  道路交通情報
  ウェザーニュース
  火山委員会
  ヘリ会社
  電力会社
  通信会社
  その他

災害時こころの情報支援センターにて精神科病院等を表示する地図を公開



本日の内容

1　はじめに

2　東日本大震災に以降の対策：
こころのケアチームからDPATへ

3　DPATとは

4　DPAT活動事例

5　現場支援を想定する

6　まとめ

DPAT活動の意義

＜DPAT制度化の意義＞
1．災害対策における精神科医療（DPAT）の位置づけ
2．災害精神医療の指揮命令系統が確立
3．全国レベルでの研修体制が確立

➡ ようやく、***精神科医療が災害医療の土台に立った***

＜DPAT活動についての指摘　by“心のケア専門家”＞
1．医療支援 vs 心理社会的支援
2．急性期支援 vs 中長期支援

➡ DPAT活動＝***すべて***

＜DPAT活動についての指摘　by 災害支援関係者＞
1．災害現場では、専門分野が何であろうと、一医療者
2．平時に救急医療に関わらずに、災害時に何ができるの？

➡ 「DPAT活動の意義」
＝***平時の精神科医療の底上げ***